



2023年3月20日

株式会社 阿波銀行

和晃運輸株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、和晃運輸株式会社（代表取締役 佐藤 良枝、本社：兵庫県尼崎市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	和晃運輸株式会社
所在地	兵庫県尼崎市水堂町四丁目 12 番 4 号
代表者	佐藤 良枝
業種	道路貨物運送業
設立	1971 年 4 月 1 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年3月20日



和晃運輸株式会社 代表取締役 佐藤 良枝

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	格差の是正	正規・非正規等による様々な格差の是正に向けて、社員との活発なコミュニケーションを通して、平等な雇用に努めます。	① 社内の規程・方針の見直し	5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
			② 2024年度中に規程・方針を見直し社内へ通知	8 働きがいも経済成長も
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身共に健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① 健康診断の年度平均受診率の向上	3 すべての人に健康と福祉を
			② (1)年2回の健康診断受診(会社負担) (2)実施率100%の達成	8 働きがいも経済成長も
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① 低炭素型ディーゼル普及加速化事業に賛同し、同トラックの導入を実施	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
			② 2030年までに導入率10%	13 気候変動に具体的な対策を
社会	事故・不祥事への対応	ステークホルダーの利益を守るため、社内で事故や不祥事を未然に防止するとともに、万一発生時の誠実な対応を心がけます。	① 危機管理体制の整備、対応フローの制定	8 働きがいも経済成長も
			② 毎年4月に作成、全社員へ通知	16 平和と公正をすべての人に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。